(財)財務会計基準機構会員

平成22年9月期 第1四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名　シミック株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2309　URL　http://www.cmic.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役会長兼社長CEO　（氏名）中村　和男
問合せ先責任者（役職名）執行役員情報開示担当　（氏名）松原　久雄　TEL 03-5745-7070
四半期報告書提出予定日　平成22年2月12日
配当支払開始予定日　—

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年9月期第1四半期の連結業績（平成21年10月1日～平成21年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第1四半期	7,418	7.5	754	26.5	757	54.4	391	98.6
21年9月期第1四半期	6,898	—	596	—	490	—	197	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第1四半期	445.78	—
21年9月期第1四半期	224.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第1四半期	23,559	14,759	58.4	15,665.75
21年9月期	23,355	14,486	57.8	15,369.33

（参考）自己資本　22年9月期第1四半期　13,769百万円　21年9月期　13,508百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	167.00	—	167.00	334.00
22年9月期	—				
22年9月期（予想）		190.00	—	190.00	380.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成22年9月期の連結業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

（%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	15,000	5.5	1,350	0.3	1,100	△14.7	500	△19.2	568.86
通期	34,000	18.1	3,000	19.3	2,600	8.3	1,200	13.2	1,365.27

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

新規 ―社 （社名 ） 除外 ―社 （社名 ）

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

（注）詳細は5ページ定性的情報・財務諸表等 4. その他をご覧ください

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）詳細は5ページ定性的情報・財務諸表等 4. その他をご覧ください

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年9月期第1四半期	894,957株	21年9月期	894,957株
② 期末自己株式数	22年9月期第1四半期	16,013株	21年9月期	16,013株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年9月期第1四半期	878,944株	21年9月期第1四半期	878,956株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、5ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間における主要各国の経済環境は、一部持ち直しの動きが見られたものの、先行き不透明な状況が続いております。

医薬品業界におきましては、医療費抑制策の継続や主力製品の特許切れを背景に、国際的な競争激化が進んでおります。こうした中で、CRO（医薬品開発支援）業界及びSMO（治験施設支援）業界では、医薬品開発のスピードアップや効率化を目指したアウトソーシングの推進を背景として、市場規模は緩やかに拡大しております。

このような環境において、当社グループにおきましては、PVC（Pharmaceutical Value Creator）を掲げ、医薬品の開発から製造、営業・マーケティングまで幅広く支援できる独自のビジネスモデルの構築を進めております。

当第１四半期連結会計期間においては各事業が堅調に推移し、対前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当第１四半期連結会計期間の業績は、売上高は7,418百万円（前年同期比519百万円増、7.5％増）、営業利益は754百万円（前年同期比157百万円増、26.5％増）、経常利益は757百万円（前年同期比266百万円増、54.4％増）、四半期純利益は391百万円（前年同期比194百万円増、98.6％増）と、前年同期比に対し増収増益となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

CRO事業

売上高	4,036百万円	（前年同期比　2.0％減）
営業利益	424百万円	（前年同期比　0.9％減）

当事業においては、主に製薬企業の医薬品開発支援に係る業務を行っております。

当第１四半期連結会計期間におけるモニタリング業務では、新規案件の獲得により受注が順調であったものの、一部の既存案件において顧客都合によるプロジェクト内容の変更や開始の遅れなどの影響を受け、売上高は前年同期に比べ減少しました。データマネジメント業務では、前期受注した案件の進捗に加え、安全性情報業務が引き続き順調に推移したことから、売上高は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。株式会社応用医学研究所で行っている前臨床業務では、低分子医薬品やバイオ医薬品を中心に試験環境の整備や品質の向上を進めておりますが、売上高は前年並で推移いたしました。薬事コンサルティング業務等では、ヘルスケア分野の業務が低調であったことから、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、CRO事業の売上高は4,036百万円（前年同期比82百万円減、2.0％減）、営業利益は424百万円（前年同期比3百万円減、0.9％減）となりました。

CMO事業

売上高	713百万円	（前年同期比　9.3％増）
営業損失	4百万円	（前年同期　営業利益46百万円）

当事業においては、主に製薬企業の医薬品等製造支援に係る業務を行っております。

当社子会社である富山のシミック・エスエス・CMO株式会社及び韓国のCMIC CMO Korea Co.,Ltd.において医療用医薬品及びOTC医薬品等の受託製造を、米国のCMIC-VPS Corporation（以下「VPS」といいます。）においては治験薬及び医療用医薬品の受託製造を行っております。当第１四半期連結会計期間においては、受託が好調なVPSの貢献などで売上高は前年同期に比べ増加いたしました。一方で、製造受託体制の基盤強化のため本社部門の増員を行ったため事業全体では営業損失を計上いたしました。また、2010年4月に譲り受けを予定している現：第一三共プロファーマ株式会社静岡工場について、2009年11月30日に第一三共株式会社と最終合意に至り、営業開始に向けて準備を進めております。

この結果、CMO事業の売上高は713百万円（前年同期比60百万円増、9.3％増）、営業損失は4百万円（前年同期　営業利益46百万円）となりました。

CSO事業

売上高　　774百万円（前年同期比　　134.1％増）
営業利益　　86百万円（前年同期　営業損失40百万円）

当事業においては、主に製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援に係る業務を行っております。
当第１四半期連結会計期間においては、エムディエス株式会社によるメディカルコミュニケーション業務（販促資材企画・制作等）や株式会社シミックエムピーエスエスによるMR（医薬情報担当者）派遣業務が好調に推移し、売上高は大幅に増加いたしました。
この結果、CSO事業の売上高は774百万円（前年同期比443百万円増、134.1％増）、営業利益は86百万円（前年同期：営業損失40百万）となりました。

ヘルスケア事業

売上高　　1,833百万円（前年同期比　　9.6％増）
営業利益　　348百万円（前年同期比　50.4％増）

当事業においては、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務を行っております。
当第１四半期連結会計期間においては、SMO業務を行うサイトサポート・インスティテュート株式会社が引き続き好調に推移し、売上高、営業利益ともに大幅に増加いたしました。
この結果、ヘルスケア事業の売上高は1,833百万円（前年同期比160百万円増、9.6％増）、営業利益は348百万円（前年同期比116百万円増、50.4％増）となりました。

その他事業

売上高　　166百万円（前年同期比　　9.8％減）
営業損失　　96百万円（前年同期　営業損失68百万円）

当事業においては、新規事業及び研究開発に係る業務を行っております。
当第１四半期連結会計期間においては、当社が国内外で保有している「L-FABP（L型脂肪酸結合蛋白）を使用した腎疾患の検査方法」に関してエフ・ホフマン・ラ・ロシュ社と2009年12月にライセンス契約（非独占特許使用権許諾）を締結するなど、IPD(Intellectual Property Development、知的財産開発)事業で進展が見られました。
この結果、その他事業の売上高は166百万円（前年同期比18百万円減、9.8％減）、営業損失は96百万円（前年同期：営業損失68百万円）となりました。

上記のセグメント毎の連結売上高及び連結営業利益は、セグメント間の内部取引を含めて記載しております。

２．連結財政状態に関する定性的情報

（１）資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比で204百万円増加し、23,559百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加によるものであります。
負債合計は、前連結会計年度末比で68百万円減少し、8,799百万円となりました。これは、主に賞与引当金及び未払法人税等の減少と短期借入金の増加によるものであります。
純資産合計は、前連結会計年度末比で273百万円増加し、14,759百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加によるものであります。

（２）キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ780百万円減少し、4,732百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、753百万円の支出（前年同期：770百万円の支出）となりました。これは、主に法人税等の支払によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、480百万円の支出（前年同期：470百万円の支出）となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、445百万円の収入（前年同期：422百万円の収入）となりました。これは、主に短期借入金の増加によるものであります。

３．連結業績予想に関する定性的情報

平成22年９月期の業績予想につきましては、平成21年11月６日に平成21年９月期決算短信にて発表いたしました予想から変更はございません。

なお、上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第１四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

③ 棚卸資産の評価方法

当第１四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し、前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益計上基準の変更

受注制作のソフトウェア契約に係る収益の計上基準については工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号　平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号　平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した受注契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の契約については工事完成基準を適用しております。

なお、これによる当第1四半期連結会計期間の損益への影響はありません。

５．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成21年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,350,412	5,953,343
受取手形及び売掛金	6,435,350	5,931,046
商品及び製品	30,525	18,904
仕掛品	1,641,257	1,440,757
原材料及び貯蔵品	222,208	216,119
その他	1,293,424	1,242,399
貸倒引当金	△1,586	△1,644
流動資産合計	14,971,592	14,800,925
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,345,777	2,271,590
その他（純額）	2,663,261	2,730,471
有形固定資産合計	5,009,038	5,002,061
無形固定資産		
のれん	647,584	672,291
その他	637,883	620,343
無形固定資産合計	1,285,467	1,292,634
投資その他の資産		
投資有価証券	470,223	464,726
敷金及び保証金	1,174,285	1,178,715
その他	653,713	620,843
貸倒引当金	△4,737	△4,737
投資その他の資産合計	2,293,484	2,259,548
固定資産合計	8,587,990	8,554,244
資産合計	23,559,582	23,355,170
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	638,690	536,240
短期借入金	2,179,600	1,428,600
未払法人税等	189,961	931,871
賞与引当金	340,886	1,080,928
その他の引当金	84,262	195,642
その他	3,281,258	2,556,477
流動負債合計	6,714,660	6,729,759
固定負債		
長期借入金	544,700	691,300
退職給付引当金	1,277,422	1,186,635
その他	262,915	260,635
固定負債合計	2,085,038	2,138,571
負債合計	8,799,698	8,868,330

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成21年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,087,750	3,087,750
資本剰余金	5,960,881	5,960,881
利益剰余金	5,327,440	5,082,406
自己株式	△416,285	△416,285
株主資本合計	13,959,786	13,714,752
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△190,470	△205,974
評価・換算差額等合計	△190,470	△205,974
少数株主持分	990,568	978,061
純資産合計	14,759,884	14,486,839
負債純資産合計	23,559,582	23,355,170

（２）四半期連結損益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成20年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成21年12月31日）
売上高	6,898,641	7,418,443
売上原価	4,941,161	5,252,043
売上総利益	1,957,479	2,166,400
販売費及び一般管理費	1,360,922	1,411,914
営業利益	596,557	754,485
営業外収益		
受取利息	2,934	1,578
受取賃貸料	5,579	4,950
受取配当金	5,579	－
為替差益	－	28,520
負ののれん償却額	8,959	－
持分法による投資利益	－	470
その他	3,917	2,969
営業外収益合計	26,970	38,490
営業外費用		
支払利息	9,308	9,608
為替差損	92,765	－
出資金等持分損失負担額	26,677	22,088
持分法による投資損失	59	－
その他	4,147	3,782
営業外費用合計	132,959	35,478
経常利益	490,568	757,497
特別損失		
固定資産除却損	－	3,413
退職給付費用	29,328	－
特別損失合計	29,328	3,413
税金等調整前四半期純利益	461,239	754,084
法人税、住民税及び事業税	155,878	172,013
法人税等調整額	78,812	169,589
法人税等合計	234,690	341,603
少数株主利益	29,213	20,662
四半期純利益	197,335	391,817

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成20年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成21年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	461,239	754,084
減価償却費	135,744	181,358
のれん償却額	23,294	25,797
負ののれん償却額	△8,959	－
受取利息及び受取配当金	△8,513	△1,578
支払利息	9,308	9,608
出資金等持分損失負担額	26,677	22,088
固定資産除却損	－	3,413
売上債権の増減額（△は増加）	△197,195	△496,522
たな卸資産の増減額（△は増加）	△204,395	△215,347
仕入債務の増減額（△は減少）	△14,345	99,864
その他	14,649	△203,005
小計	237,506	179,759
利息及び配当金の受取額	8,513	1,578
利息の支払額	△9,070	△9,098
法人税等の支払額	△1,007,870	△925,657
営業活動によるキャッシュ・フロー	△770,921	△753,417
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,312	△176,320
定期預金の払戻による収入	160,000	－
有形固定資産の取得による支出	△407,349	△230,579
無形固定資産の取得による支出	△116,329	△58,711
投資有価証券の取得による支出	△53,300	△22,882
その他	△3,103	7,665
投資活動によるキャッシュ・フロー	△470,394	△480,828
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,080,000	751,000
長期借入金の返済による支出	△146,600	△146,600
リース債務の返済による支出	△4,572	△20,889
配当金の支払額	△115,278	△128,080
少数株主への配当金の支払額	△12,109	△10,379
自己株式の取得による支出	△379,357	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	422,081	445,050
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38,492	8,420
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△857,726	△780,774
現金及び現金同等物の期首残高	6,070,677	5,512,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,212,950	4,732,173

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕
前第１四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成20年12月31日）

	CRO事業（千円）	CMO事業（千円）	CSO事業（千円）	ヘルスケア事業（千円）	その他事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	4,118,863	645,844	330,849	1,652,262	150,821	6,898,641	－	6,898,641
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	6,948	－	20,734	34,114	61,797	(61,797)	－
計	4,118,863	652,792	330,849	1,672,996	184,936	6,960,438	(61,797)	6,898,641
営業利益（又は営業損失）	428,110	46,292	△40,898	231,806	△68,753	596,557	－	596,557

当第１四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成21年12月31日）

	CRO事業（千円）	CMO事業（千円）	CSO事業（千円）	ヘルスケア事業（千円）	その他事業（千円）	計（千円）	連結消去又は（千円）	連結（千円）
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	4,000,454	713,191	748,101	1,825,403	131,291	7,418,443	－	7,418,443
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	36,330	－	26,292	8,580	35,526	106,729	(106,729)	－
計	4,036,784	713,191	774,393	1,833,984	166,817	7,525,173	(106,729)	7,418,443
営業利益（又は営業損失）	424,224	△4,701	86,021	348,586	△96,689	757,441	(2,955)	754,485

（注）１．事業区分の方法
事業は、商品・サービスの系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。
２．各区分に属する主要な業務
CRO事業　：モニタリング業務、データマネジメント業務、薬事コンサルティング業務、前臨床業務
CMO事業　：医薬品等製造支援
CSO事業　：医薬品マーケティング支援業務、MR派遣業務
ヘルスケア事業　：SMO業務、ヘルスケア情報サービス
その他事業　：人事組織支援、診断薬開発、新規事業他

〔所在地別セグメント情報〕
前第１四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成20年12月31日）及び当第１四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成21年12月31日）
本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90％超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕
前第１四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成20年12月31日）及び当第１四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成21年12月31日）
海外売上高は、連結売上高の10％未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

６．その他の情報

（１）事業の種類別受注実績

事業の種類別 セグメントの名称	前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成20年12月31日）		当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成21年12月31日）		前連結会計年度 （自　平成20年10月１日 至　平成21年９月30日）	
	受注高 （百万円）	受注残高 （百万円）	受注高 （百万円）	受注残高 （百万円）	受注高 （百万円）	受注残高 （百万円）
CRO事業	2,218	15,013	5,886	20,340	18,053	18,272
CMO事業	666	281	735	322	2,783	299
CSO事業	514	702	632	966	2,503	1,082
ヘルスケア事業	1,995	7,325	2,592	8,659	7,373	7,893
その他事業	240	896	156	760	1,053	917
合計	5,636	24,220	10,001	31,048	31,767	28,465

（注）１．金額は販売価格によっております。
２．セグメント間の取引については相殺消去しております。
３．CMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上しております。顧客からは、年間ベースの発注計画等の提示を受けていますが、確定注文とは異なりますので受注残高には含めておりません。
４．当第１四半期連結会計期間より、前期連結会計年度までその他事業に含まれていた中国事業をCRO事業に変更しております。この影響により当第１四半期連結累計期間の受注残高は181百万円増加し、その他事業の受注残高は同額減少しております。
５．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

（２）事業の種類別販売実績

事業の種類別 セグメントの名称	前第１四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成20年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成21年12月31日）	前連結会計年度 （自　平成20年10月１日 至　平成21年９月30日）
	金額（百万円）	金額（百万円）	金額（百万円）
CRO事業	4,118	4,000	16,694
CMO事業	645	713	2,744
CSO事業	330	748	1,940
ヘルスケア事業	1,652	1,825	6,461
その他事業	150	131	943
合計	6,898	7,418	28,784

（注）１．セグメント間の取引については相殺消去しております。
２．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。